

令和 8 年度第 1 回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会議事録

令和 8 年 7 月 2 7 日（月） 1 9 時 0 0 分～ 2 0 時 0 0 分

下関市立市民病院 2 階 講堂

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

： 綾目委員長、嶋本委員、関野委員、塚原委員

地方独立行政法人下関市立市民病院

： 田中理事長、上野副理事長、法人事務局

下関市保健部

： 藤野部長、渡邊所長、藤永部次長、米崎部次長 ほか 3 名

1. 開 会

2. 委員長互選

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員長の互選が行われ、綾目委員が委員長に選出された。

その後、綾目委員長が塚原委員を職務代理者に指名した。

3. 議 題

・令和 7 年度の業務実績に関する評価結果（案）について

事務局 概要説明

＝質疑応答・意見等＝

評 価 委 員

業務活動によるキャッシュフローはプラスであり、本業では現金を生み出しているが、一方で設備投資額が大きく、長期借入金で資金調達しているため、返済への対応が懸念される。

長期借入金の返済により、最終的なキャッシュフローがマイナスとなっており、今後、資金がショートする可能性があるため、長期借入金の返済に対応できる利益の確保に努められたい。

法 人	設備投資額が大きく、長期借入金で資金調達をしているため、返済への対応が懸念されるという点については、令和7年度は、令和6年度に更新した電子カルテシステム等の支出により、例年に比べて設備投資額が大きくなっているが、当面、このような巨額の支出は予定していない。 長期借入金の返済によりキャッシュフローがマイナスとなっており、今後資金がショートする可能性があるため、長期借入金の返済に対応できる利益の確保に努めることという指摘については、固定資産取得の財源の多くを長期借入金で賄っており、その償還が資金繰りに与える影響は非常に大きくなっている。 令和8年度からは、電子カルテシステムの償還も始まるため、長期借入金の返済に係る支出は、令和8年度は令和7年度よりもさらに増加する見込みであり、資金の減少は避けがたい状況となっている。 今後も厳しい経営状態が続くが、当期純損益の改善を図り、資金ショートを起こさないよう、収益対策や経費の見直しなど、病院一丸となってより一層経営改善に取り組んでいきたいと考えている。
評 価 委 員	法人評価と市の評価に違いが生じる理由について、説明をお願いする。
事 務 局	数値として明確に示しにくい項目について、計画を上回ったことは認めつつ、「大幅に」と評価するかどうかで法人と市に差が生じている。
評 価 委 員	<u>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</u> <u>1 市民病院が担う役割と機能</u> 業務実績に関する評価結果〔小項目〕の資料10ページ、項目10であるが、派遣回数について、月1回というのは前年度と比べてどうだったのか。
法 人	大学からの派遣医師が1名減となったこともあり、回数自体は減少しているが、そのような厳しい状況の中でも、派遣を継続できたことを踏まえ、法人としては「5」と評価した。
評 価 委 員	派遣回数が半減したことによって何か支障が出たのか。出ていなければ評価「5」で良いと思う。

事 務 局	豊田中央病院は支障なく派遣を受けている。市の評価としては、計画どおり実施できているという意味で「4」としており、低い評価という趣旨ではない。
評 価 委 員	評価を「5」に上げてもいいのではないかと思います。
評 価 委 員	<u>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</u> <u>2 患者満足度の向上</u> 業務実績に関する評価結果〔小項目〕の資料 19 ページ、項目 26 であるが、予定入院支援件数が、令和 6 年度実績と比べて下回っているが、当日入院支援件数がかなり上回っている。 当日入院への早期支援は患者の安心につながる大切な部分だと思うので、自己評価「4」を「5」にしてもよいのではないかと。
事 務 局	年度計画は「入院を予定している患者が安心して入院医療を受けられるよう」となっているが、それを達成してさらに緊急入院についても前年度実績を大きく上回っているので、計画を上回っていると判断することも可能である。
評 価 委 員	そういうことであれば、この項目も評価を「5」としたいと思う。
法 人	<u>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</u> <u>4 医療に関する調査及び研究</u> 業務実績に関する評価結果〔小項目〕の資料 28 ページ、項目 41 であるが、D P C 係数は非常に複雑な計算で決まる指標であり、前年の活動実績が反映される面がある。 現在、下関医療圏では 1 位を維持しており、県内でも上位に位置している。全国順位では若干低下しているものの、人口減少の影響も大きく、法人としては県内上位、下関医療圏 1 位を維持しており、機能評価係数Ⅱも前回より上昇している点を評価いただきたい。
評 価 委 員	中期計画では「向上」を目標としており、前年度から上がっているのであれば、評価を「5」としてよいと思う。人口減少の中で維持・向上している点は評価すべきである。

法 人	<u>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</u>
	<u>1 運営管理体制の充実</u>
	業務実績に関する評価結果〔小項目〕の資料 38 ページ、項目 57 であるが、R P A は、例えば、主治医による画像診断報告書の報告内容の見落とし防止に活用している。 診断医が悪性腫瘍の疑いを記載した場合には、主治医へ確実に通知が届く仕組みを構築しており、見落とし防止につなげている。 また、A I の活用も進めており、退院時サマリー作成支援に導入している。インターネットから切り離した独立環境の中で活用しており、情報担当が電子カルテから必要情報を抽出し、院内で安全に運用できる形を整えている。 職員による利用は増えており、今後さらに効果が見込まれると考えている。
評 価 委 員	今後のD X 推進という観点からも、計画を大幅に上回る取組であり、評価を「5」としてよいと思う。

＝評価に対する意見＝

大項目第2、中項目1の(2)、小項目10「へき地医療への支援」については、豊田中央病院に対する脳神経外科の医師の派遣回数は減少したものの、継続して派遣することができていることを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第2、中項目1の(3)、小項目12「災害拠点病院としての体制の充実(DMA T活動)」については、災害時に必要な医療救護活動が実践できるよう体制整備が進められており、2チームが常時出動できる体制を維持しているということを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第2、中項目1の(3)、小項目14「感染症指定医療機関としての対応」については、現在、感染症の流行がない中で、訓練等を含めて感染防止対策を継続していることを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第2、中項目1の(4)、小項目18「地域連携体制の充実」については、地域医療研修会開催件数が計画を大きく上回っていることを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第2、中項目2の(1)、小項目26「患者サポート体制の充実(入院支援センター)」については、予定入院支援件数の規模を

維持しつつ、当日入院支援件数は前年度を大きく上回っていることを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第2、中項目4、小項目41「医療の質及び効率性の向上」については、令和8年度の機能評価係数Ⅱが前年度から増加したことを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。

大項目第3、中項目1の(8)、小項目57「RPAの活用による業務の効率化」については、病院情報システムの更新に伴うロボット改修による業務効率化や生成AIの導入により、病院DXを推進していることを考慮して、「年度計画を大幅に上回って実施している」と評価すべきと考えます。